

令和元（2019）年度ながの環境パートナーシップ会議活動報告書

活動の概要

令和元（2019）年度は、長野市の環境ビジョンの実現に向け「つなぐ・伝える・行動する」を行動指針とし、プロジェクト、フォーラム、広報活動などに取り組みました。また、平成29年度に見直しを行った、本会の行動指針である「アジェンダ21ながの-環境行動計画-」に基づき、事業者・他団体との連携など、新たな協働による環境活動を展開しましたが、令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染拡大により活動に大きな影響がありました。

1 各プロジェクトの活動

(1) プロジェクト及びスペシャルプロジェクトへの取り組み

① 生ごみ削減・再生利用プロジェクト

キッズ生ごみ農園クラブを創設してから4年が経過。生ごみの堆肥を利用して野菜を収穫し、夏と収穫祭を開催したほか、生ごみと野菜の交換市を定期的に開催、朝市で野菜の販売もできました。また、各種イベントに参加（信州環境フェア及びアモーレフェスタにて展示説明、プレゼンステージ「楽しい生ごみ教室」、クイズ等）し、啓発活動を実施しました。

令和元年東日本台風により農園が甚大な被害を受け、秋から冬の活動にかけてキッズ生ごみ農園に大きな影響がありました。農地と堆肥場の復興・復旧に一步步み続けております。

② レジ袋使用削減プロジェクト

マイバッグ持参の取り組みが浸透し、マイバッグ持参率が4年連続60%を超えました（令和元年度：65.4%）。

2月に予定していた「海ごみ対策地域リーダー養成講座」については、新型コロナウイルス感染拡大の防止のため中止となりました。

③ 市民の森づくりプロジェクト

令和元年度は高校生の森林整備体験などの活動を実施しましたが、令和元年東日本台風災害のため秋の里山散策が中止となり、新型コロナウイルス感染拡大の防止のためかんじき作り体験会やきのこの駒打ち体験会が中止となりました。また、令和元年東日本台風災害のため、スパイラルも甚大な被害を受け、整備作業を行いました。第二の市民の森選定作業は進みませんでしたが、他のチームなどとも協力し、体験会なども活用の上、活動の輪を広げて行きます。

④ 太陽エネルギー普及促進プロジェクト

令和元年度はリーダーを交代して活動を再開しました。具体的な活動は、来年度以降に開始する予定です。

⑤ 聖山自然復元プロジェクト

リーダーの体調不良等諸事情により計画していた現場での活動ができませんでした。

⑥ 子どもの環境学習支援プロジェクト

中高生、大学生を対象とした環境学習の支援として「国際ユース環境会議」（開催場所：長野市青少年錬成センター）を開催し、13名のユースの参加を得て、「近未来へのエネルギー」をテーマに環境ワークショップや英語でのディスカッション等を行いました。日本語だけでなく、英語によりコミュニケーションを図ることで、ユースの視野の拡大を図りました。

NPO法人みどりの市民等いくつかの環境団体や事業者との連携および協力関係を構築することができました。

⑦ ながのカーボンオフセットプロジェクト

事業者・団体・市民が手軽に参加できるカーボンオフセットクレジット（CO2排出権）の制度設計

を予定していたが、具体的な活動の展開には至りませんでした。

⑧ 小生物の育成環境保全プロジェクト

小学校の観察会は、例年通り地元小学校児童生徒や市民を対象とした自然観察会を開催したほか、オオムラサキ繁殖地の整備（下草刈り・間伐・外来植物ニワウルシの除伐・飼育舎の設置等）を実施したことにより、越冬幼虫調査の結果、多くの幼虫を確認することができました。

⑨ ぼんすけ育成プロジェクト

ぼんすけ（シナイモツゴ）達が住むすばらしい里山の保全・再生を目指して、チーム自ら稲作と林檎の栽培を開始し「ぼんすけブランド」として販売しました。また、他団体等の協働によるため池の保全活動等を行うなどぼんすけを含む里山の保全活動が展開できました。

⑩ ゴマシジミ保護・育成プロジェクト

ゴマシジミの生息数が少ないため、現状維持に傾注しました。具体的には、生息地内の草刈・間伐の捕獲禁止の立て看板の作成・設置、生息地内のパトロール・注意喚起、ワレモコウの育苗・植栽・保護などを実施しました。

⑪ 生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）プロジェクト

令和元年度はリーダーを交代して活動を再開しました。具体的な活動は、来年度以降に開始する予定です。

⑫ 田中さくら公園づくり&里山づくりプロジェクト

「田中桜公園」の手入れの作業を行いました。また、福寿草を植えることにより、多くの人に親しんでいただける公園になるよう活動を行いました。

⑬ 第9回ながの環境団体大集合スペシャルプロジェクト（中止）

ながの環境団体大集合の開催に向け、スペシャルプロジェクトを立ち上げ、全体構成やコンテストの方法等について各種団体等との協働により企画しましたが、令和元年東日本台風災害の影響によりながの環境団体大集合は中止になりました。なお、チーム員として学生3名が企画段階から参画しました。

（任期：7月19日（金）から9月5日（木）まで、会議開催数：3回）

【リーダー】 赤羽和春（ながの環境パートナーシップ会議）

【メンバー】 小林（特定非営利活動法人長野県 NPO センター）、渡辺（ながの環境パートナーシップ会議）、堀池（長野市地球温暖化防止活動推進センター・ながの環境パートナーシップ会議）、河西（ながの環境パートナーシップ会議）、佐藤（信州大学工学部）、加藤（信州大学工学部）、柳川（信州大学工学部）、北村（長野高校）、菊池（事務局）、吉原（事務局）

(2) プロジェクトサポーター制度について

現在5つの各プロジェクトとサポーター事業者が次のとおり協働による事業を展開しました。

※プロジェクトサポーター制度とは…

事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感等いただける事業者が、直接、プロジェクト活動に、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に平成28年度に当制度を創設しました。

※協働事業の状況は次のとおりです。

【協働事業の状況】

プロジェクト名	サポーター事業者名	主な協働事業内容
生ごみ削減・再生利用	長野市委託浄掃事業協同組合	収穫祭へ組合員が参加
子どもの環境学習支援	直富商事株式会社	国際ユース環境会議へ社員を講師として派遣
小生物の育成環境保全	コマキ工業株式会社	桜の育苗事業に人的等の支援
ぼんすけ育成	信陽食品株式会社	自然観察会へ食品提供
生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）	株式会社公害技術センター	水質調査事業の人的等の支援

(3) 信州大学工学部「地域環境演習 I 2019」の受け入れ

信州大学工学部の「自分でPDCAサイクルを機能させて行動できる人材」の養成を目指し実施する「地域環境演習 I 2019」の受講生を、各プロジェクトチームで受け入れ、協働による環境活動を行いました。

また、9月21日には、信州大学工学部で、参加学生による活動成果発表会が行われました。

【信大生の受入人数】 4人（前年度4人）

【受入プロジェクト】 生ごみ削減・再生利用 1人、市民の森づくり 2人、小生物の育成環境保全 1人

2 ながの環境パートナーシップ会議全体での活動

(1) 第9回ながの環境団体大集合（中止）

令和元年度は「SDGs から見た地域の活動」をテーマに、持続可能な開発の3要素である社会・経済・環境のうち広く全てに関係する「環境」に着目し、地域で活動している団体や事業者などが現在の活動とSDGsのつながり（関係）について考えてもらえる場を設ける計画をしていました。

しかし、令和元年東日本台風災害の影響により中止となりました。

3 広報

(1) ホームページの運用

- ・各プロジェクトの出前講座やイベント等の予定及び活動報告などを掲載
- ・他団体などから情報提供されたイベント等を掲載

(2) 平成30年度活動成果報告書「手をむすんで」を発行

ニュースレター「手をむすんで」に代わる本会の活動を情報発信していくため、新たに平成30年度のながの環境パートナーシップ会議活動成果報告書「手をむすんで」を発行し、会員や関係機関にPRしたほか、新規会員の勧誘時に活用いたしました。

【規格】 (詳細版) 表紙4P 本文32P 中綴じ仕上げ
(配布版) A3二つ折り

【内容】

- ・ながの環境パートナーシップ会議の案内
- ・平成30年度運営方針
- ・ながの環境パートナーシップ会議活動成果報告
- ・プロジェクトの活動成果報告
- ・信州大学工学部地域環境演習の報告

・新聞記事

【支援団体】 発行に際し、長野市地球温暖化防止活動推進センターの支援をいただきました。

(3) イベント等への参加

① 信州環境フェア 2019

【日時】 令和元年7月27日（土）午前10時～午後4時

令和元年7月28日（日）午前10時～午後4時

【会場】 長野市 ビッグハット

1日目（ブース来場者・ステージ来場者）550名・2日目（ブース来場者）60名

※環境博来場者数：1日目3,172名・2日目3,025名

【内容】 ながの環境パートナーシップ会議の活動紹介（パネル展示、パンフレット配布など）

プロジェクト活動紹介、環境クイズ等（生ゴミ削減・再生利用）

② ながの環境フェア 2019

【日時】 令和元年9月29日（日）午前10時～午後2時30分

【会場】 長野市 リサイクルプラザ

ながの環境パートナーシップ会議ブース来場者：100人

【内容】 本会の全体的な紹介及び各プロジェクトチームの紹介

環境クイズ（麦ストロー）及び新規会員の勧誘等

(4) 電子メール及び facebook の活用

電子メールにて本会会員、関係機関及び長野市役所職員宛へ各プロジェクトチーム等が開催するイベントの情報発信をしています。また、facebook のページを作成し、会員以外の方にも情報発信を行っております。

4 他団体との連携

(1) 「ライトダウンキャンペーン 2019 in ながの」に参加協力

本会は、ライトダウンながの実行委員会の構成団体として、温暖化防止・CO₂削減の啓発活動に協力しました。

【キャンペーン期間】 夏： 6月22日（土）～7月7日（日） 午後8時から10時

冬： 12月8日（日）～12月22日（日） 午後8時から10時

(2) 事業所・環境保全団体との活動の連携

【生ゴミ削減・再生利用プロジェクト】

長野市委託浄掃事業協同組合と協働で、収穫祭を開催しました。

【レジ袋使用削減プロジェクト】

スーパーの協力を得て、レジ袋削減を考える会など多くの環境保全団体とともに店頭キャンペーンを行いました。

【市民の森づくりプロジェクト】

浅川地区の「あさかわの里山と森を守る会」との合同作業など地元の方々とのつながりを進める活動を実施し、協力体制の確立を図りました。

【子どもの環境学習支援プロジェクト】

「国際ユース環境会議」を、実行委員会、参加スタッフ、支援組織との協力により継続して開催し

ました。

【小生物の育成環境保全プロジェクト】

オオムラサキ繁殖地での活動を、住民自治協議会及び他の保全団体を含めて組織された連絡会で情報共有しながら、計画的な保全と環境学習会等を実施しました。

【ぼんすけ育成プロジェクト】

絶滅危惧種のシナイモツゴ（ぼんすけ）を保護していくため、県と連携を図りながら活動を実施しました。また、NPO法人生態工房（東京）との協働によりシナイモツゴの生息地であるため池の保全活動等を行いました。

【ゴマシジミ保護・育成プロジェクト】

長野市霊園に生息する絶滅危惧種「ゴマシジミ」の保護・育成活動を県、市及び研究機関との連携、協力により実施しました。

(3) 身近な水環境全国一斉調査 2019 に参加

河川をはじめとする身近な水環境に対する市民の意識の高まりを受け、全国各地で数多くの市民団体等により水質調査が行われています。このような調査を全国統一の手法で同日に実施し、水環境に関する市民の理解と関心を深めることを目的に、平成 16 年から毎年、世界環境デー（6 月 5 日）に最も近い日曜日を中心に全国一斉調査を実施しています。

そこで、本会では、この趣旨に賛同するとともに本会の活動の拡大と活性化を図るため、同調査活動に参加しました。

【開催日時】 令和元年 6 月 1 日（土） 午前 8 時～正午

【調査場所】 長野市内の千曲川、犀川への流入河川等約 50 か所

【参加者数】 10 人（うち P 会議 4 人）

(4) 「ごみひろいとアレチウリ駆除作業」に参加協力

長野市が主催する「ごみひろいとアレチウリ駆除作業」に参加協力しました。

【開催日時】 令和元年 7 月 6 日（土） 午前 9 時～10 時

【場 所】 犀川第 2 緑地（日赤南側グラウンド）、更北運動場

【参加者数】 80 人（うち P 会議 17 人）

(5) 特定外来生物「アレチウリ」の駆除活動に参加協力

豊かな環境づくり長野地域会議が主催するアレチウリの駆除活動に参加協力しました。なお、本会は、同会議の会員です。

【開催日時】 令和元年 7 月 26 日（金） 午前 8 時 30 分～午前 10 時

【場 所】 長野市若穂牛島落合橋運動場周辺

【参加者数】 70 人（うち P 会議 5 人）

(6) 山の日ウォーキングに共催

山の日が制定されたことを記念し、毎年、山に親しむとともに自然の大切さや地域の歴史を理解するため開催しています。本会は、共催者として運営に携わると共に、生ごみ削減・再生利用プロジェクト、市民の森づくりプロジェクト、ぼんすけ育成プロジェクトが参加しました（主催：長野市）。

【開催日時】 令和元年 8 月 24 日（土） 午前 9 時 45 分～午後 1 時

【場 所】 長野市茶臼山

【参加者数】 40 人

(7) 長野市環境こどもサミットに参加協力

こども達が環境問題を理解し、地球環境について深く考え、今後の活動を契機となる場を提供するため、毎年環境こどもサミットが開催されています。本会は、主催者である同サミット実行委員会の構成メンバーとして、運営の一翼を担いました。

【開催日時】 令和元年 10 月 27 日（日） 午前 10 時～午後 2 時

【場 所】 長野市リサイクルプラザ

【参加者数】 600 人

(8) 「長野市ポイ捨て、道路等における喫煙等を防止し、きれいなまちをつくる条例」の施行に伴う周知・啓発活動

同条例に賛同するとともに本会の活動をアピールするため、周知啓発活動に参加しました。

【開催日時】 令和元年 7 月 12 日（金） 午前 7 時 40 分～午前 8 時 30 分

【場 所】 長野駅前広場及び東ロデッキ周辺

【参加者数】 50 人（うち P 会議 10 人）

(9) 他の環境団体等への周知

平成 30 年度活動成果報告書「手をむすんで」やパンフレットを個人や事業所などに配付をしました。また、各新聞に記事として取り上げられるなど環境活動を PR しました。

5 会議

(1) 通常総会

日 時：令和元年 6 月 16 日（日） 午前 10 時～正午

会 場：長野市リサイクルプラザ 2 階 大会議室

出席数：出席者数 110 名（出席者 29 名+委任状 81 名 会員数 179 名）

内 容：平成 30（2018）年度活動報告、収支決算報告、監査報告について

令和元（2019）年度運営方針（案）、活動目標・活動計画（案）、収支予算（案）について
会費規程の一部改定について

(2) 理事会

ながの環境パートナーシップ会議の運営等について協議するため、理事会を 10 回開催しました。

第 5・10 回の理事会では、プロジェクトリーダーとの合同会議を開催し、各チームリーダーから進捗状況等について説明を受け、プロジェクト活動について助言を行いました。

また、第 3・4 回の理事会について、電子メールを用いたみなし決議としたことで、業務の効率化を行いました

回数	開催日時	理事等	備考
第 1 回	6 月 6 日（木） 18:00～	8 人	
第 2 回	7 月 11 日（木） 18:00～	7 人	
第 3 回	8 月 8 日（木）	9 人	みなし決議
第 4 回	9 月 30 日（月）	9 人	みなし決議
第 5 回	11 月 1 日（金） 18:00～	9 人	合同会議

第6回	12月12日(木)	18:00～	6人	
第7回	1月27日(木)	18:00～	6人	
第8回	2月27日(水)	18:00～	6人	
第9回	3月19日(木)	18:00～	9人	合同会議
第10回	4月9日(木)	18:00～	6人	

(3) 各プロジェクトチームのミーティングの開催

各チームで随時開催しました。

6 市政等への参画

審議会等名称	会員名
長野市総合計画審議会委員 長野市地球温暖化防止活動推進センター運営委員 長野広域連合ごみ処理手数料審議会委員 豊かな環境づくり長野地域会議運営委員	金井 三平
長野市環境審議会委員	赤羽 和春
長野市健康増進・食育推進審議会委員	佐藤 敏夫
長野市廃棄物減量等推進審議会委員	西澤 和雄
長野県緑の基金理事	片桐 勝治
長野市環境こどもサミット実行委員会委員	小山 勝宏

7 その他

(1) 寄附

令和2年1月28日、長野卸売市場協同組合様から本会へ寄附金の贈呈がありました。

【内容】長野卸売市場内の約80の事業所で作る同組合は、市場内で出た古紙を原料にトイレットペーパーを製造し、各事業所に販売しています。このたび、同組合からこのトイレットペーパーの売上金の一部を市内の環境保全活動に役立ててほしいと本会に寄附していただきました。

【寄附金額】66,000円

(2) 会員

令和2年5月末現在の会員数：182（令和元年5月末：179）

(3) ながの環境パートナーシップ会議への年間活動参画者数

平成18年度	1,676人	平成25年度	3,638人
平成19年度	2,495人	平成26年度	3,566人
平成20年度	3,152人	平成27年度	3,766人
平成21年度	2,448人	平成28年度	4,112人
平成22年度	2,790人	平成29年度	4,629人
平成23年度	4,116人	平成30年度	4,842人
平成24年度	4,176人	令和元年度	4,588人